

令和3年度第2回山形市障がい者自立支援協議会定例協議会

日時 令和4年2月9日(水)

午前10時から

会場 山形市庁舎11階 大会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告

(1) 令和3年度活動実績について・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

4 協 議

(1) 日中サービス支援型指定共同生活援助事業者の評価について・・資料2、3

(2) 山形市障がい者自立支援協議会の公開について・・・・・・・・資料4、5

5 そ の 他

6 閉 会

令和 3 年度活動実績について

※全て R3. 4 月～12 月の期間における活動を記載しております。

○定例協議会

回数	実施日	内容
第 1 回	R3. 7. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・山形市障がい者自立支援協議会について ・令和 2 年度事業報告 ・山形市の障がい福祉について ・令和 2 年度事業計画、山形市障がい福祉計画（第 5 期計画）及び山形市障がい児福祉計画（第 1 期計画）の最終報告 ・令和 3 年度事業計画

○事務局会議

回数	実施日	内容
9 回	毎月 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・月々の相談支援事業の報告 ・専門部会の経過報告 ・定例協議会に諮るべき事項の提案 ・障がい福祉サービス事業所ガイドの作成 ・山形市公式ホームページへ山形市障がい者自立支援協議会に関する情報を掲載 ・地域の障がい者等の支援体制に係る課題の整理・検討

○専門部会

1 相談支援部会

会議名	相談支援部会
内容	相談支援体制の強化、受け入れ情報の共有、研修参加報告、部会報告、まん福マップ（そうだん篇）の修正、昨年度のグループスーパービジョンの地域課題整理、ピアサポーターの活用の検討、緊急対応ケースの共有・検討、その他情報交換
実施日	毎月 1 回（R3. 11 月より隔月 Zoom 開催）
出席者	全相談支援事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	相談支援事業所間の連携、相談支援体制の検討
主な意見	・ピアサポートについての意見交換で、役割や重要性の理解ができた。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のグループスーパービジョンにおける課題を整理し、その後専門部会に振り分けて検討する。 ・ピアサポート活動の研修体制と、それを活用する仕組みがなければ活動自体が広がらないため、他部会と連携し、活動の場を広げられる方法について検討する。 ・地域生活支援拠点の相談体制の強化の話し合いを継続する。

会議名	グループスーパービジョン
内容	事例を用いたグループスーパービジョンを行い、事例提供者への気づきを促す
実施日	毎月3回
出席者	全相談支援事業所、山形市障がい福祉課 ※上記出席者を3グループに分けて実施
課題・目的	輪番で事例提供を行い、相談支援専門員が思い悩んでいるケースについて、全員で協議。アプローチ方法をはじめ様々なアイデアを出し、気づきを促して、事例に活かしてもらう。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 事例提供者は参加者からのアイデアをもらうことで、ストレンクスや違う視点の気づきや考えの幅が広がる。 事例の共有をしながら、参加者も勉強になり、今後の支援に生かすことができる。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 継続して実施する。

2 就労支援部会

会議名等	就労支援部会
内容	「福祉事業所から一般就労へ」～具体的な事例をもとに支援の流れや関係機関の役割、連携を知る～
実施日	R3. 12. 15
出席者	就労継続支援 A 型事業所、就労継続支援 B 型事業所、就労移行支援事業所、相談支援事業所、山形市障がい福祉課、その他就労支援関係機関等
課題・目的	障がい者雇用の促進（福祉的就労から一般就労へ移行するための支援方法や労働関係機関との連携方法を確認する機会を設ける）。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 事例の内容や関係機関との連携の仕方、関係機関の役割等について理解できた。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 今回の研修をもとに、更に具体的な連携の仕方や支援の方法についての研修を実施する。 障がい者雇用受入れ企業拡大のための企業へのアプローチを行う。 企業に対して福祉サービスやジョブコーチ支援などのフォローアップ体制の周知の方法を検討する。 障がい者の工賃向上に向けた取り組みについて検討する。

3 保健・医療部会

会議名等	保健医療部会幹事会
内容	今年度の取り組みについて
実施日	R3. 7. 19
出席者	部会幹事事業所、医療機関、山形市障がい福祉課

課題・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、村山保健所と共に実施した“精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のためのアンケート”結果をもとに、山形市における課題を整理し、取り組む課題の優先順位を決める。 ・部会幹事を中心とした精神障がい者の課題を検討する場について検討する。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に課題を整理し、課題検討の場を設け、取り組んでいく必要がある。 ・アンケート結果から、支援者の業務の課題が出てきたが、当事者の課題が見えてこない。分けて考えた方が良いのではないか。 ・山形市における課題は3つとし、部会で取り組む課題、部会以外で取り組む課題を分けて考えた方が良い。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築に向けて、課題解決に向け取り組んでいくためのワーキングチームを作る。 ・アンケート結果から抽出した3つの課題をワーキングで検討していく。 ・ワーキングチームのメンバー構成については、部会幹事から意見を募り、決定する。

会議名等	保健医療部会幹事会（代表事業所のみ）
内容	精神障がいに関する課題検討ワーキングチーム編成について
実施日	R3. 11. 11
出席者	部会幹事代表事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・課題検討の進め方について検討する。 ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築に向けてのワーキングチーム編成と、R3年度～R4年度の取り組みについて検討する。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの課題のうち、どの課題から取り組むか、優先順位を決める必要がある。 ・優先すべき課題として“精神障がい者の入退院支援について、お互いの都度の役割を確認し合う”ことから始めていく。 ・各幹事事業所からの意見を元に、チームメンバー構成について協議したが、課題によって関わる機関が増えてしまうため、課題に合わせたメンバー構成が必要である。 ・残る課題2つについては、検討していく機関・メンバーが多くなってしまうため、同時進行ではなく上記課題検討終了後、順次検討を進めていくこととする。 ・“精神障がい者の入退院支援について、お互いの都度の役割を確認し合う”について検討するメンバーは、以下の機関とする。 <ul style="list-style-type: none"> ◆市内にある精神科病床を持つ医療機関4ヶ所（各病院の特徴を踏まえた医療機関からの立場として） ◆訪問看護事業所1ヶ所（障がいと病気を併せ持つ精神障がいの特性から、在宅生活を支える医療の立場として） ◆相談支援事業所1ヶ所（障がい者の地域生活を支えるコーディネーターの役割として）

	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域包括支援センター（障がいのある高齢者の地域生活を支えるコーディネーターの役割として。高齢者分野と障がい者分野の連携体制構築に向けて） ◆保健所（措置入院者や医療中断者への入退院支援に取り組む立場として） ・ワーキングのスケジュールとして、年に4～5回の検討会とする。 ・年度内に検討を開始するため、第1回の検討会をR4.1月下旬予定とする。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・“精神障がい者の入退院支援について、お互いの都度の役割を確認し合う”の検討を行うワーキングチームメンバーについて、各機関へ参加協力を依頼する。 ・今後、上記ワーキングは年に4～5回の検討会を予定し、第2回はR4.3月頃。R4年度は、R4.5月、8月、11月に開催予定とする。 ・ワーキングでの検討結果を、保健医療部会にて報告できるようにする。

4-1 生活支援部会（グループホーム）

会議名等	グループホームチーム研修会
内容	サテライト型についての事例紹介、待機者管理についての情報交換
実施日	R3.12.3
出席者	共同生活援助事業所、部会幹事事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	サテライト型に関するノウハウの共有、スムーズな入居調整のための情報共有
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライト型が広がると循環するのではないか。 ・一人暮らしを目指す方には良い方法であると思った。 ・自分の事業所でも検討してみたいが、ハードルが高いと感じた。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・山形市近郊のグループホームは希望してもほぼ満床という状況を解決できるように、有効活用の方法や、待機管理の仕方等を引き続き検討していく。 ・R4年度以降、グループホーム職員を対象に研修等を実施し、支援の質の向上を図るとともに、共同生活援助事業所から部会幹事事業所を選出し、主体的に運営に参加してもらう。

4-2 生活支援部会（居宅介護）

会議名等	第1回部会幹事会
内容	R2年度の振り返り、R3年度の活動に向けての検討
実施日	R3.7.13
出席者	部会幹事事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	R3年度の活動について具体的な内容検討と役割分担を行う。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・どこの事業所でも対応に悩むケースがあるが、他の事業所でどう対応しているか知る機会は少ない。 ・研修会では実践的なアドバイスやアイデア等、参加した事業所が持ち帰って参考になるものが望ましい。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク中心の研修と情報交換会の開催に向け、役割分担を行い活動していく。

会議名等	第1回 生活支援部会（居宅）研修会
内容	居宅介護事業所で対応に悩んでいる事例について、グループワークで検討
実施日	R3. 11. 18
出席者	山形市障がい者自立支援協議会委員、居宅介護事業所、相談支援事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討を通じ、多職種で意見交換し様々なアイデアを出し合い、日々の支援に活かす。 ・情報交換することで、課題や悩みを共有し、横のつながりを構築する。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・他のケースに活かせるヒントをもらえ、気持ちが軽くなった。 ・他の事業所の取り組みが聞けて良かった。 ・サービス利用開始時に確認しておくべきポイントが理解できた。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会実施後のアンケートにおいて、多職種での事例検討については概ね好評なので、今後もこのような研修を開催していきたい。今後は、専門家のアドバイスがもらえる内容にしていきたい。

4-3 生活支援部会（生活介護）

会議名等	第1回 生活介護事業所情報交換会
内容	日中活動内容についての情報交換、コロナ感染対策の状況確認等
実施日	R3. 7. 29・30（Zoom開催）
出席者	生活介護事業所、相談支援事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	日中活動のコロナ感染対策における課題や工夫を共有する。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナにより行事や外出等活動の幅が狭くなっている。身体を動かすことが必要になってきている方が増えているが、身体を動かす環境を確保するのが難しい。 ・夏の暑さで熱中症の心配もあり、散歩や身体を動かすなどに対し中々対策が難しい。 ・高齢の方、若くて動きが多い方と二極化が進んでいる。同じフロアだと危険な状況がみられる。 ・自分の意見を伝えることが難しい方は写真の提示や、質問を2択にして選択できるようにしている。支援員の力量も問われるが顔の表情等で聞くようにしている。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・今回情報共有できた活動内容について、各事業所でも取り入れながら、日中活動における質の向上を図っていく。 ・今回は2グループに分かれ、Zoomにて実施したが、2回目の情報交換会は参集して開催することとする。

5 移動支援部会

会議名等	第1回幹事会
内容	R2年度の振り返り、R3年度の活動に向けての検討
実施日	R3.6.25
出席者	部会幹事事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	R3年度の活動について具体的な内容の検討・役割分担等を行う。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすでのバス乗降の実際を知りたい。 ・H28年に公共交通機関との情報交換会を行ったが、各機関においてその後の取り組みも更新されたと思うので知る機会があれば良い。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすでのバス乗降について公共交通機関事業者へ問い合わせを行い、その結果を後日幹事会にて共有・検討する。

会議名等	第2回幹事会
内容	車いすでのバス乗降について問い合わせした結果の報告と検討
実施日	R3.11.15
出席者	部会幹事事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間程度で乗降から料金支払いまでの一連の流れを、実際のバスを使って説明可能との回答をいただき、障がいのある方への配慮や支援について勉強したいがどうしたら良いか、と相談を受けたことに対応する。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすでのバス乗降の実際について、知りたいと思う相談支援事業は多いと思われる。開催場所の収容人数等により、直接見学できるとは限らないので、動画撮影等を含めた見学方法を視野に入れて、見学の調整を行ってはどうか。 ・企業向けの障がい理解の研修については、民間法人で研修を請負うところがあるほか、県で実施している「心のバリアフリー推進員の養成」の出前講座等の情報を提供してみてもどうか。 ・公共交通機関との情報交換会については、新型コロナウイルス感染症の状況も見ながらR4年度開催が可能か検討していく。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすバス乗降の見学方法について調整していく。 ・企業向けの障がいに対する理解を深める研修等について情報提供を行う。

6 こども部会

会議名	放課後等デイサービス事業所との情報交換会
内容	特別支援学校との連携について
実施日	R3.6.30 (Zoom開催)
出席者	放課後等デイサービス事業所、部会幹事事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	各事業所での連携状況を共有し、こども部会としての関わりを考える。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校送迎時に情報共有をすることが多い。

	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの困り感がある時に関係機関を参集して会議を開催している。 ・学校と互いに悩みを共有することはその後の連携のしやすさにつながる。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・できるケースから学校とつながっていく。学校との連携は必要であるので、学校連携の仕組みづくりを進めていく。放課後等デイサービス事業所に部会幹事事業所をお願いし、企画検討から加わってもらう。

会議名	こども部会アンケート調査
内容	未就学児向けに児童発達支援事業所、認可保育所、認定こども園、幼稚園、就学児向けに放課後児童クラブ、放課後等デイサービス事業所にアンケートを実施。
実施日	R3.6月
課題・目的	障がい児支援のニーズや現状を把握する。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・困り感や課題に思っていること、他機関と連携している事例、こどもに対する関わりで配慮をしている点、やまがたサポートファイルに対する認識、研修の希望等をアンケートにて確認をする。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を元に、課題整理をして次年度への企画に活かしていく。 ・アンケート結果を実施機関へ報告・情報共有を行った（R3.12月）。

7 安心生活部会

会議名等	不動産業者へ向けての障がいの理解研修会
内容	不動産業者への障がいの理解
実施日	R3.7.2
出席者	不動産業者、部会幹事事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	障がいの理解、障がいのある方の住まい探しについて
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産業者向けに障がい者への理解に関する研修会を実施するより、障がい者本人の事が分かる生活サポートシートを作成して業者へ渡したほうが、大家さんや業者の理解度は早い。 ・生活保護を受けている方について、家賃が確実に入るということもあり、大家さんとしてはプラスの材料となるのではないか。 ・保証人がいないという課題もある。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度は先進自治体を参考に、生活サポートシートの作成に取り組んでいく。

会議名等	防災研修
内容	山形市防災対策課出前講座
実施日	R3.8.10
出席者	全相談支援事業所、山形市防災対策課、山形市障がい福祉課
課題・目的	防災について、避難行動支援制度について

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて防災に対する意識を持つことができた。 ・避難場所やハザードマップを確認できてよかった。 ・山形市の避難行動支援制度について確認できてよかった。2階へ避難をする垂直避難について説明を受け、実際の時に活かされればと思った。 ・担当する方で避難するにあたり支援が必要な方がいる。そういった方をピックアップして対応する必要がある。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な方に、避難行動支援制度について周知をしていく。 ・避難所、福祉避難所について把握をしていく。 ・災害に対する意識を高めていく。

会議名等	安心生活部会
内容	司法と福祉の連携について
実施日	R3. 12. 10
出席者	山形刑務所、山形県地域生活定着支援センター、全相談支援事業所、山形市障がい福祉課
課題・目的	刑務所出所後の連携と関係機関における役割の確認について
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて司法との関わりで定着支援センターの役割を認識できた。 ・法務少年支援センターを活用していきたいと感じた。 ・実際の流れや関係機関のことが知れて良かった。 ・子供の段階から注意が必要な方がいると思うので、相談支援事業所でもしっかり理解をしておくことは必要と感じた。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・刑務所、定着支援センター、相談支援事業所それぞれの役割の確認について整理をしていく。

日中サービス支援型指定共同生活援助事業者の評価について

1 概要

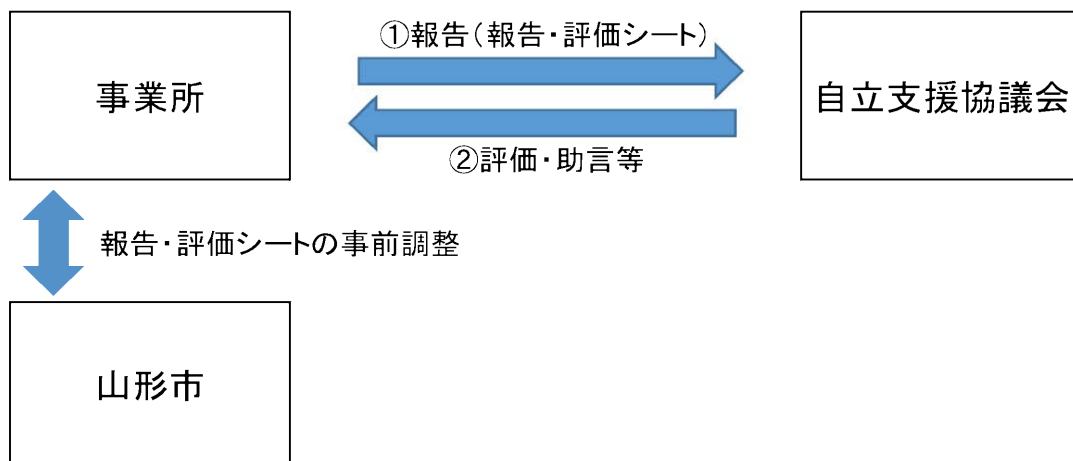
日中サービス支援型指定共同生活援助事業者は、地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図る観点から、自立支援協議会に対し、定期的に（年 1 回以上）事業実施状況等を報告し、自立支援協議会による評価を受けるとともに、必要な助言等を受けることとなっております。

2 評価の流れ

①報告：当該事業者より、自立支援協議会に対し、事業実施状況等の報告を行う。

②評価：自立支援協議会より、当該事業者に対し、評価・必要な助言等を行う。

【イメージ図】



報告・評価シート

項目	【事業所記入欄】					
施設概要	事業者名	指定共同生活援助事業所こもれび 指定短期入所事業所こもれび	人員配置	日中		
	指定日	令和3年1月1日		世話人	生活支援員	
	所在地	山形市中桜田2丁目6-8		11人	9人	
	定員数（共同生活援助）	10人		（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	定員数（短期入所）	1人（2人）※		4.5人	4人	
	共同生活住居数	1戸		看護職員の配置	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 人	
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】		夜間		
	住居名：	名		世話人（夜間）	世話人（夜間）	
	住居名：	名		人	0人	
	住居名：	名		（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	住居名：	名		人	1人	
住居名：	名	看護職員の配置	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 人			
事業所の特色・独自の取組	10名定員の日中サービス支援型グループホームに2床の短期入所事業所を併設し事業を実施。 ※短期入所の1床は山形市障がい者地域生活支援拠点整備事業（緊急短期受入）を受託。					
利用者状況 (令和3年9月30日 現在)	障害支援区分	人数		主な障がい種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
	非該当	人		身体	総数：	1人
	区分1	人			主に日中GHで過ごす人数：	1人
	区分2	人		知的	総数：	8人
	区分3	人			主に日中GHで過ごす人数：	0人
	区分4	1人		精神	総数：	1人
	区分5	5人			主に日中GHで過ごす人数：	1人
	区分6	3人		難病等	総数：	0人
	合計	9人			主に日中GHで過ごす人数：	0人
	年齢構成	・60歳以上 0人 ・50歳代 1人 ・40歳代 7人 ・39歳以下 1人				

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【自立支援協議会記入】 助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
1 地域に開かれた運営	利用者に対する指定計画相談支援の提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 全利用者(9)名中 別法人(5)名、セルフプラン(0)名	<input type="checkbox"/> 問題なし
	実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生(0)名、ボランティア(0)名 (受入事例) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため受入れていない。新型コロナウイルス収束後は受入れていく。	<input type="checkbox"/> 問題なし
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	(利用者と地域の交流を広げるための取り組み事例) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため交流の機会を設けていない。新型コロナウイルス収束後は交流の機会を設けていく。	<input type="checkbox"/> 問題なし
2 常時の支援体制の確保	日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(日中・土日を含めた職員の配置状況等) ・日中・土日を含め、グループホーム入居者及び短期入所利用者の利用状況を考慮した勤務体制をとり、平日・土日を含め朝7時～21時まで、世話人及び生活支援員を合わせて、2名以上の職員を配置することを基本としている。	<input type="checkbox"/> 問題なし
	災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) ・年度ごとに消防署に防災計画書を提出し火災を想定した総合訓練を年2回実施。・総合訓練(通報・避難・消火訓練)、3/26・8/2 ・夜間想定通報避難訓練10/25、防災マニュアル有。	<input type="checkbox"/> 問題なし
	体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(利用者の急な体調変化等)事例) ・利用者の急な体調変化等が認められた場合に、速やかに家庭や医療機関等と連絡を取り、早期の受診等、状況に応じた適切な対応が取れるよう、マニュアル等により緊急時の連絡体制を整備している。	<input type="checkbox"/> 問題なし
	利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(利用者の嗜好や心身状況等を考慮した食事提供) ・主な食事は利用者の嗜好を考慮しまんさくの丘の管理栄養士が献立を作り、まんさくの丘の調理職員が調理したものをグループホームに搬入、それを世話人が個人の状況に合わせて(刻み食等)提供し、生活支援員と共に必要に応じた介助を行っている。	<input type="checkbox"/> 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【自立支援協議会記入】 助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
3 短期入所の併設	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 実人数 (22) 名 延人数 (75) 名	<input type="checkbox"/> 問題なし
	緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(緊急受入人数) 実人数 (4) 名 延人数 (21) 名 ・具体的には、親と二人暮らしの対象者が、養護者である親の急病等により、緊急の支援が必要になり受け入れるという内容のものが多い。	<input type="checkbox"/> 問題なし
4 支援の実施・質の確保	充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(利用者の外出や余暇活動等の事例、支援体制) ・開所時から新型コロナウイルス感染拡大防止のため外出や交流事業は控えている。休日はグループホーム内で入居者ごとの意向や嗜好を考慮し、散歩や簡単な創作活動、音楽鑑賞等を取り入れている。	<input type="checkbox"/> 問題なし
	支援の質の確保に努めているか。(研修等)	(職員が参加した研修名等) ・法人内 救命救急研修会 (令和3年7月14日) 2名 ・山形県知的障害者福祉協会山形市支部会研修会 (令和3年9月9日) 6名 ・山形県知的障害者福祉協会権利擁護推進委員等研修会 (令和3年10月8日) ・山形県知的障害者福祉協会権利擁護研修会 (令和4年2月予定) ・山形県強度行動障がい支援者研修会 (基礎研修) ・山形県強度行動障がい支援者研修会 (実践研修)	<input type="checkbox"/> 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【自立支援協議会記入】 助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	グループホームの入居を見据えた体験的利用を行っているか。	(事業所体験利用の実施状況) □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (事業所体験利用人数) (-) 名 (事業所体験利用から本入居に繋がった人数) (-) 名	□ 問題なし
	利用者・家族からの意見・希望に対して、改善しようとしているか。	(利用者・家族からの意見・希望及び対応状況) ・内容の正確な理解に努め、必要に応じて関係職員や相談支援事業所との間で情報を共有し、協議及び検討を行い、適切に改善できるように取り組んでいる。 具体例として、入居8カ月を経過した利用者が、帰省後グループホームに戻るのを渋るようになってきたと両親が相談に来所。本人の特性を考慮しグループホーム生活の中に、本人の役割(係)を設け、それらに対する職員の感謝と励ましで、本人が意欲と充実感を持てるように支援を継続したことで、グループホームへ戻り生活することが出来た。	□ 問題なし
5 利用者の権利擁護等への配慮について	利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) ・月ごとに家族から生活の必要経費を受け取り、家賃、食費、光熱水費等の支払いを行い、受診支援、買い物支援等を行う場合は、月々必要額の医療費、日用品代等を預かり金庫で保管し、入出金記録簿により適切に管理する。なお、不要な残額は家族に返金する。 (成年後見制度の利用支援及び利用者数) ・利用支援事例等(□有 <input checked="" type="checkbox"/> 無) ・有の場合の支援内容記載(利用者数 - 名)	□ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【自立支援協議会記入】 助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取組み(個人情報の管理、利用者・家族の意思確認・合意等)) ・利用者のプライバシーと個人ごとの状況に配慮しながら支援し、情報の管理についても家族や関係者の間で必要最小限の情報のみに留めるように配慮している。 ・利用者及び家族の思いを大切に合意形成しながら支援に当たることを基本とし、通常の介助、特にトイレや入浴等の介助を必要とする利用者に対しては同性介助を基本としている。また支援においては選択可能なものについては、自己決定・意思確認できる環境、支援をしている。	<input type="checkbox"/> 問題なし
	虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) ・山形県知的障害者福祉協会権利擁護推進委員等研修会(令和3年10月8日) ・山形県知的障害者福祉協会権利擁護研修会(令和4年2月予定) ・法人内 虐待防止研修会(令和4年3月予定) (虐待発生時の対応、発生後の対応等) ・虐待発生を確認した場合は正確な状況を把握に努め、マニュアルを策定し、被害者及び告発者保護を最優先し管理者に報告。管理者から速やかに山形市及び家族等に報告し、山形市の指導の下で本人家族へ適切な対応を行う。その後は、再発防止に向けて早期に原因の究明と改善策を策定しその徹底を図る。	<input type="checkbox"/> 問題なし
6 入居/退去状況について	報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(入居者数)(10)名 (退去者数及び事由) ・退去者数:(1)名 ・退去者数:令和3年度(1)名 7月退去 ・主な退去事由:疾病のため共同生活が困難となり自宅に戻った。	<input type="checkbox"/> 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【自立支援協議会記入】 助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
7 他の日中活動サービスの利用	GH内でどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの提供内容) ・利用者の状況に合わせ、室内では簡単な創作活動や体操及び軽運動、音楽鑑賞やDVD鑑賞、入浴及び整容の支援等。屋外では気候や気温を考慮しながら、近隣散歩や日光浴等。	<input type="checkbox"/> 問題なし
	他の日中活動サービスの利用を妨げていないか。	(他の日中活動の利用状況) 他の日中活動サービスを利用 全利用者(9)名中(8)名 (主な他の日中活動サービス種別・利用先) ・生活介護事業所 恵光園 ・就労継続B型 じゃんぶ	<input type="checkbox"/> 問題なし
8 利用者の健康管理	日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	(具体的な健康管理の方法等について) ・毎日、全員の健康状態の確認、体温の測定、一部利用者の血圧測定、必要な利用者の服薬管理を実施、希望があれば受診同行も実施している。	<input type="checkbox"/> 問題なし
9 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) ・必要に応じて相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行い、必要な連絡や情報交換等を行っている。 具体的な事例としては、グループホーム内で課題となる行動が増えてきた入居者について、相談支援事業所、日中活動事業所、家族の間で情報交換の場を設け、支援者相互が共通理解を図りながら改善について検討した。	<input type="checkbox"/> 問題なし
10 その他	事業所で抱えている課題に対して、改善しようとしているか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと及び対応状況) ・家庭以外で生活した経験がない入居者が複数おり、家庭から離れたグループホームでの生活に慣れるのに時間がかかっている。対応としては、家族と連携を密にし、家族、こもれびが共通した認識を持つ、本人の生活サイクル、嗜好を取り入れる等を行っている。	<input type="checkbox"/> 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【自立支援協議会記入】 助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
11（2回目以降）協議会の評価を受けてからの取り組み	これまでの評価を踏まえた取り組み等について記入。 ※事業所自由記載		

山形市障がい者自立支援協議会の公開について

1 概要

令和3年10月13日に行われた「令和3年度市長と語る福祉懇談会」にて、「いつ自立支援協議会が開催されていて、どういった課題が議論されているのかわからない」とのご意見を頂戴しました。これを受け、今後の自立支援協議会の対応について、下記のとおりご提案させていただきます。

2 会議の傍聴について

自立支援協議会にて傍聴を実施することを考えております。詳細につきましては、以下の通りとなります。

- ・傍聴対象とする会議：定例協議会、専門部会
※ただし、上記会議において、個人情報ないし個人を特定できる可能性のある議事（事例検討等）を取り扱う場合は、傍聴の対象外とする。
- ・傍聴実施の判断：山形市において、定例協議会又は専門部会の開催に関する決裁において、会議内容の確認を行い、傍聴実施、資料公開の判断を行う。
- ・傍聴定員：5名
- ・傍聴周知：会議開催の1週間前までに、山形市公式ホームページ（以下「HP」という。）にて、傍聴受付の案内を掲載する。
- ・傍聴申請：会議開催の3日前までに、傍聴希望者は電話にて事務局へ申請を行う。
- ・傍聴時の注意事項：傍聴要領を定め、会議会場に掲示する。※資料5参照

3 資料の公開について

HPにて、定例協議会の会議資料及び議事録を掲載することを考えております。

4 2及び3の適用時期について

本定例協議会において承認を得られた場合、直ちに適用させていただきます。そのため、「2 会議の傍聴について」は、本定例協議会後の定例協議会、専門部会から傍聴を行い、「3 資料の公開について」は、本定例協議会の資料から掲載を行います。

傍聴要領

山形市障がい者自立支援協議会

1 傍聴する場合の手続

- (1) 会議の傍聴を希望する方は、会議当日の3日前までに事務局へ傍聴を希望する旨を伝え、会議当日の開催予定時刻までに、受付で氏名及び住所を記入し、事務局の指示に従って会議の会場に入室してください。
- (2) 傍聴の受付は、先着順で行います。したがって、定員になり次第、受付を終了します。

2 傍聴者の遵守事項

傍聴者は、会議を傍聴するに当たっては、次の事項を守ってください。

- (1) 会議開催中は、静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 会場において、飲食又は喫煙をしないこと。
- (3) 会場において、写真撮影、録画、録音等を行わないこと。
- (4) その他会場の秩序を乱し、会議の支障となる行為をしないこと。

3 会議の秩序の維持

- (1) 傍聴者は、会議を傍聴するに当たっては、事務局の指示に従ってください。
- (2) 傍聴者が2の傍聴者の遵守事項に違反したときは注意し、なお、これに従わないときは、退場していただく場合があります。